

サポーター活動やボランティア活動で守られる 静岡県立森林公園の自然

静岡県立森林公園では例年 300 個以上のニホンアカガエルの卵塊が確認されています。このようにまとまった数が見られる場所は静岡県内では限られており、ニホンアカガエルの貴重な生息場所となっています。

ニホンアカガエルは水深が 10 センチ程度の浅い水辺を産卵場所として好みます。しかし当園では近年、こうした水辺に特定外来種のオオフサモや園芸品種のナガバオモダカなどが繁茂し、開けた水面を覆ってしまう状況が続いています。そこで産卵期の冬を迎える前までに、サポーター活動としてこれらの植物の除去作業を、またボランティア活動では動植物の生育状況の確認等を継続して行っています。

“森林公園の豊かな自然を守りたい”という利用者の思いにも支えられ、県絶滅危惧種ニホンアカガエルの生息環境は守られています。



根っこから取り除くのは重くて大変！



水面が見えた！

サポーターとボランティア どっちがうの？

どちらも園内の自然を守る活動をするという点では同じですが、活動形態に違いがあります。

「静岡県立森林公園ボランティアの会」では 7 つの作業グループがあり、毎月定例のボランティア活動を行っています。サポーター活動では、園内の状況に応じて必要な作業等を単発で計画・実施しています。どちらも会員制ですが、サポーター活動は会員登録なしでも行事ごとに随時参加できます。

サポーターメニュー 実施事例

- ・アカマツ再生
- ・カイナンサラサドウダン（絶滅危惧種）保全
- ・ハッチョウトンボ（絶滅危惧種）保全
- ・アオモジ除去
- ・メリケントキンソウ除去
- ・親水池保全（オオフサモや園芸品種除去）
- ・カエデ植栽
- ・幼児向け絵本の読み聞かせ など

本誌作成に際し、次の方に写真提供をいただきました。感謝申し上げます。
Y: 大川佳英氏 K: 杉浦公亮氏
※無印の写真は静岡県立森林公園自然解説員による撮影

参考資料：「日本産カエル大鑑」松井正文解説・前田憲男写真（文一総合出版）、「ネイチャーウォッチングガイドブック分類と生活史～全種の生態、卵、オタマジャクシ日本のカエル」松井正文著（誠文堂新光社）、「カエル観察事典」小田英智文・桜井淳史写真（協成社）、「ニューステージ新生物図表」（浜島書店）、「スクエア最新図説生物」吉里勝利ほか（第一学習社）

ビジターセンター バードピア浜北

自然情報の発信、自然体験プログラムなどを通じて、静岡県立森林公園の自然の魅力を発信しています。
■入館料：無料
■開館時間：9:00～16:30
■休館日：毎週水曜（祝日の場合は翌日）と年末年始（12/29～1/3）
■問合せ：☎ 053-583-0443

木工体験館

気軽に木工作業を楽しむことができます。工具はそろっているので、手ぶらでどうぞ！
■木工作：金・土・日
■開館時間：9:00～16:30 初回利用時に「初心者利用講習」受講が必要です。
■休館日：月・火・水と年末年始（12/29～1/3）
■問合せ：☎ 053-583-1559

ムササビだより 18号 発行 2021年1月15日 発行 静岡県立森林公園バードピア浜北 発行部数：1700部

執筆・編集・デザイン・制作 / 瀬下 亜希（自然解説員）



〒434-0002 浜松市浜北区尾野 2597-7
☎053-583-0443 FAX 053-583-2700
http://kenritsu-shinrinkouen.jp/



1・2月

冬の森林公園で
まっさきに産卵を始めるのが
ニホンアカガエル。
1匹のメスが1シーズンに1つ
卵塊を産むようです。



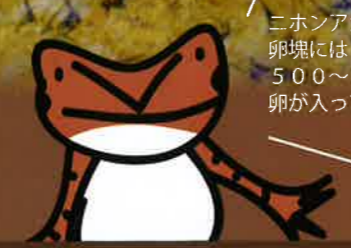
水中に丸いかたまり。
ニホンアカガエルの卵塊です。
丸いつぶの中に
黒い卵が見えます。

あずまひきがえるの
卵のうには
1500個
8000個の卵が
入っているんだって。

こちらはまるで長〜い
トコロテンのよう。
がまの油で有名な、
アズマヒキガエルが
産んだ卵です。

2・3月

ロープのような卵のうを産
むのはアズマヒキガエル。
長さは5～20mもあります。



ニホンアカガエルの
卵塊には
500～3000個の
卵が入っているんだ。



厳

しい寒さがゆるむ冬の夜の雨。その数日前から、オスのニホンアカガエルは水辺でスタンバイ。曇り空や夕方には「キョ、キョ、キョ…」とまるで水が流れるような優しい声を響かせメスを待ちます。

産卵開始の合図は闇夜を潤す雨のしずく。メスの登場に、待ってましたとばかりに蛙合戦の火蓋が切って落とされます。

カエルは水と陸とを必要とする両生類。産卵は魚と同じ体外受精です。オスはメスの脇腹に腕をまわしてしっかり抱きとめ、メスの産卵を促し精子をかけます（抱接）。オスの数はメスの3倍程度と考えられており、おのずと熾烈なメス争いが勃発します。

▶▶▶アズマヒキガエルの卵が育ち、孵化（ふか）するまでの様子を観察してみよう！



受精卵は黒い方が上になるよう回転する。 2個の割球となる。(2細胞期) 4個の割球となる。(4細胞期) 内部では卵割腔という空間ができ始める。 割球がさらに小さくなる。(桑実胚期) 内部の卵割腔は胞胚腔と呼ばれるようになる。(胞胚期) 原腸陥入という動きが起こり、3つの胚葉ができる。(原腸胚) 脊索や神経管がつくられる。(神経胚) 胚が前後に伸び始める。 胚葉の分化が進み器官ができる。(尾芽胚) 尾ができる。陥入の原口側が肛門になる。 鰓(えら)ができ始め、孵化する。

ニホンアカガエルの蛙合戦

アズマヒキガエルの蛙合戦

耳腺にブフォジェノライドというステロイド系の毒を持つ

十四節気の啓蟄(けいちつ)

を迎える少し前あたりから、今度はアズマヒキガエルが産卵を開始します。成体は成人男性の握りこぶし大以上の大きさがあることから、メスをめぐる蛙合戦も迫力満点。動きはゆっくりながらも相手の体を後ろ足で蹴り上げるなど蛙合戦の名に恥じないダイナミックな展開となります。

ニホンアカガエルは降雨時の夜から明け方にかけて産卵することが多いのに対し、アズマヒキガエルは、雨の前後や気温の上昇をきっかけにして産卵が一旦始まると、そのまま数日は晴れても昼でも抱接にいそしむ姿を見ることが多いです。

小さな卵には劇的な変化が起きているんだね。びっくりだ！

Rana japonica Boulenger, 1879 ニホンアカガエル

アカガエル科アカガエル属 英名: Japanese Brown Frog 静岡県絶滅危惧II類 (VU)
分布: 本州、四国、九州 平地・丘陵地で見られる 日本固有種
全長: 3~7cm 声: キョ、キョ、キョ、キョ オスも鳴のうはない



ニホンアカガエルの背側線はくびれが少なく、メスはオスよりも大きい。 産卵直後には、白い卵黄側はいろいろな方向を向いている。 数時間で卵の周りのゼリー層が吸水しふくらむ。孵化まで卵を守る。



ニホンアカガエル(幼生)は背中に2つの斑点があるものが多い。 ニホンアカガエルはうずまき状の長い腸がよく見える。 ニホンアカガエル成体。のどから腹が白い。ネバタゴガエルとの識別点。

Bufo japonicus formosus Boulenger, 1883 アズマヒキガエル

ヒキガエル科ヒキガエル属 英名: Eastern-Japanese Common Toad
分布: 北海道南部、本州東北部 近畿及び山陰まで 低地~山地
全長: 4~16cm 声: クッククック オスも鳴のうはない



メスの背中に乗るオス。自分が生まれた水辺へ匂いをたよりに戻るといふ。 オスは手をグーにしてメスの脇腹にくい込ませる。 外鰓(がいさい)ができ口が開く。口の下の吸着器で体を固定する。



集団となり温度をあげていると考えられている。 アズマヒキガエルの幼体は6~8mmとミニサイズ。(ニホンアカガエルの場合15~19mm) 変態したばかりのアズマヒキガエルの幼体は6~8mmとミニサイズ。(ニホンアカガエルの場合15~19mm) アズマヒキガエルの幼体は6~8mmとミニサイズ。(ニホンアカガエルの場合15~19mm) 5月頃、幼体となり上陸する。尾は体に吸収され栄養となる。